

公共調達監視委員会における議事概要

部局名 長崎労働局

- 1 開催日 令和6年7月24日(水)
- 2 監視委員 委員長 伊東 讓二 弁護士
委員 東 直美 公認会計士・税理士
委員 福澤 勝彦 大学名誉教授
- 3 審査対象期間 令和6年1月1日～令和6年6月30日
- 4 審議件数 48件
(内訳) 競争入札による公共工事 0件
随意契約による公共工事 0件
競争入札による物品・役務等 28件
随意契約による物品・役務等 20件

5 審議の概要

(1) 長崎労働局公共調達審査会審議結果の審議について

① 物品・役務等の競争入札案件

(委員) 一般定期健康診断及び情報機器作業健康診断委託契約について、低入札価格調査となっているが何を調査したのか。

(労働局) 価格内訳及び単価の妥当性、昨年度契約より安価となった理由、当該契約の履行体制、当該契約期間中の他の請負状況、昨年度の国及び地方公共団体の契約履行、経営状況を調査した。

(委員) 調査の結果、問題ないと判断したのか。

(労働局) そのとおり。

(委員長) 物品・役務等の競争入札案件については、適正と判断する。

② 物品・役務等の随意契約案件

(委員) 落札率が100%ではない案件があるが何故か。

(労働局) 99.99%となっている案件については、契約相手方の小数点以下の扱いが予定価格時と契約時に相違しているため。

プリンター及び複写機保守に係る契約案件については、昨年度実績を
予定数量として、カタログ単価と参考見積を用いて予定価格を算出し
ているため落札率に差が出ている。

(委員長) 物品・役務等の随意契約案件については、適正と判断する。

以上